

令和8年第3回瀬戸内町議会定例会

(令和8年9月2日開会)

一般質問通告一覧表

質 問 者

(通告順)

1〔8〕柳谷 昌臣 5〔3〕伊東さおり

2〔2〕里山 正樹 6〔1〕栄 克人

3〔5〕中村 洋康 7〔6〕泰山 祐一

4〔7〕永井しずの

9月4日（金） 9時30分～

通告1 質問者：柳谷 昌臣 議員

1. 教育行政について【町長・教育長】

- (1) 町内の学校・幼稚園における熱中症対策について伺います。
- (2) 児童・生徒数が減少傾向にある中、今後の町内の教育環境をどのように維持していくのか。学校再編の必要性について見解と今後の検討方針を伺います。
- (3) 加計呂麻留学制度の現状と課題、今後の取り組みについて伺います。

2. 奄美せとうち地域公社について【町長】

- (1) きび酢事業の現状と課題、今後の取り組みについて伺います。
- (2) サトウキビ農家の担い手対策について伺います。

3. せとうち創生マニフェストについて【町長】

- (1) 進捗状況と今後の取り組みについて伺います。

9月4日（金） 午前

通告2 質問者：里山 正樹 議員

1. 児童発達支援体制の充実と、安心して子どもを育てられる環境づくりについて【町長】

- (1) 町内の児童発達支援事業所の運営状況を踏まえ、療育を必要とする子どもたちが継続して適切な支援を受けられる体制の確保、専門職を含めた人材の確保・育成、病児保育・病後児保育を含めた子育て支援体制の充実、さらには保護者が安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりについて、町の考えを伺います。

2. 阿木名小学校区（山郷地区）における農村 RMO を活用した持続可能な地域づくりについて【町長】

- (1) 人口減少や少子高齢化が進む中、阿木名小学校区（山郷地区）を一つの生活圏として捉え、地域住民、自治会、農業、福祉、観光などが連携する農村 RMO（農村型地域運営組織）の可能性と、国の支援制度を活用した瀬戸内町版 RMO による持続可能な地域づくりについて、町の考えを伺います。

3. 加計呂麻島展示・体験交流館の活用による交流人口・関係人口の拡大について【町長】

- (1) 人口減少が進む本町においては、新たな施設整備だけでなく、既存の公共施

設や地域資源を最大限に活用し、交流人口・関係人口の拡大につなげることが重要であります。計呂麻島展示・体験交流館は、加計呂麻島の歴史・文化・自然を発信する拠点として整備された施設であります。その価値をさらに高めるためには、施設単独の活用だけではなく、観光協会や地域団体、民間事業者等と連携し、本町が有する様々な観光資源を組み合わせた滞在型・周遊型観光へ発展させていくことが重要であると考えます。そこで、加計呂麻島展示・体験交流館を核とした観光振興について、今後どのような方向性で取り組んでいく考えか伺います。

9月4日（金） 13時30分～
通告3 質問者：中村 洋康 議員

1. デジタルネットワークラボ運営事業について【町長・教育長】

- (1) シルバータウン春日Ⅰ階で実施しているデジタルネットワークラボ運営事業について、これまでの事業実績及び利用状況を伺います。またeスポーツの普及やシニア世代の健康維持、デジタル人材育成など、事業目的に対する成果をどのような指標で検証・評価し、その結果を今後の事業運営にどのように反映しているのか伺います。
- (2) 本事業は一般財源約1,000万円を充てた町単独事業として実施されていますが、学生向けeスポーツの普及やプログラミング教育は、本来、民間事業者や教育機関が担うことも可能な分野と考えます。その中で、本町の重点施策として本事業を位置付ける理由は何か。また民間ではなく町が事業主体として実施する政策的な必要性及び行政が担う役割について、町長並びに教育長の見解を伺います。
- (3) 7月に開催された「ma+chiii」のデジタル関連ワークショップイベントに参加し、プログラミング教育を実際に体験できる取組であり、デジタル人材の育成につながる事業であると感じました。一方で、参加者数は必ずしも多いとは言えず、より多くの子どもたちや保護者への周知が必要ではないかと考えます。そこで、この施設の利活用をさらに促進するため、町は利用者拡大に向けてどのような周知・広報や利用促進策を講じ、今後どのような事業展開を考えているのか伺います。

2. 観光振興について【町長】

- (1) 瀬戸内町観光振興計画（第1次計画）は令和4年度をもって計画期間が終了していますが、現在まで新たな計画が策定されていません。町の観光行政を進める上で、計画不在の状況をどのように認識しているのか。また、次期計画の策定期間について伺います。

(2) 今後の瀬戸内町における観光振興について、町長が描く将来像と、重点的に取り組む施策及び目指す方向性について伺います。

(3) 令和8年度一般社団法人奄美せとうち観光協会総会において「瀬戸内町観光ビジョン 2030」が承認されました。このビジョンでは、「奄美せとうちは規模ではなく本物を選びます」を基本理念に掲げ、持続可能な観光地域づくりを目指しています。この「瀬戸内町観光ビジョン 2030」に対する町長のご所見と、今後策定する町の観光振興計画との整合性をどのように図っていく考えなのか伺います。

3. 学校における熱中症対策と体育館の空調設備（クーラー）整備について【町長・教育長】

(1) 学校の屋外活動及び体育館における授業、学校行事、部活動における熱中症対策の取組状況及び WBGT（暑さ指数）の活用状況について伺います。

(2) 町内小・中学校体育館の空調設備（クーラー）の整備状況と今後の整備計画について伺います。あわせて、前回の一般質問において、清水総合体育館への空調設備整備について町長から前向きな答弁がありました。そこで学校体育館と清水総合体育館の整備における優先順位及びその判断基準について、町長並びに教育長の所見を伺います。

9月4日（金） 午後

通告4 質問者：永井 しずの 議員

1. 今年度からスタートした『こども家庭センター』について【町長】

(1) 新しく設置された『こども家庭センター』はスタッフも揃い上手く機能していると感じていますが現況と課題を伺います。

2. 市街地の危険家屋の整備について【町長】

(1) 本議会においても何度か提言させて頂きましたが、先日の台風13号の被害を受けさらに危険度が増してると思いますが、進捗状況を伺います。

3. 『せとうち海の駅』の活性化について【町長】

(1) 以前から私以外の議員からも提言がありましたが『せとラジ』の後のブースを含め1階の空きスペースの利用方法について進捗状況を伺います。

4. あらゆる災害に対して町としての備えの現況と課題について【町長】

(1) 先日の台風13号は予想以上に停電が長引いたりしましたが今後も勢力の強い台風がくる事を予想して町としてどのような対策を講じるのか伺います。

9月7日（月） 9時30分～

通告5 質問者：伊東 さおり 議員

1. 陸上自衛隊瀬戸内分屯地について【町長】

- (1) 2019年に節子に瀬戸内分屯地が開設されてから現在まで、自衛隊及びその家族の住居による人口増加をはじめ・消費・住宅需要・雇用・町税収入・交付金等を含め、本町の経済及び財政にどの程度の効果をもたらしているのか伺います。
- (2) 地域活性化の波及効果を伺います。
- (3) 自衛隊を開設するにあたっての、節子集落の要望の進捗状況を伺います。

2. 観光産業について【町長】

- (1) 本町の地域振興において観光産業をどの程度重要な産業として位置付けているのか、また今後どの様に観光振興を推進していくお考えなのか伺います。
- (2) ホノホシ海岸の清掃について伺います。
- (3) 本島側の観光コースや加計呂麻島地区の道路整備について伺います。
- (4) Aコープ側の港に照明設備が無い理由を伺います。
- (5) 海の駅の三連時計の不機能について伺います。

3. 移住定住政策と災害時における被災者の住居確保と生活再建支援について【町長】

- (1) 国、県、町それぞれの被災者の生活再建支援制度について伺います。
- (2) 災害時の住宅確保と町営住宅活用について伺います。
- (3) 住宅不足と移住定住政策について伺います。

4. 加計呂麻地域の振興について【町長】

- (1) 奄美シーカヤックマラソン in 加計呂麻、加計呂麻島ハーフマラソン大会の経済効果について伺います。
- (2) 加計呂麻島に「建設課」「農林課」「防災」を中心とした現場対応の行政拠点の必要性について伺います。

9月7日（月） 午前

通告6 質問者：栄 克人 議員

1. 大規模災害に備えた防災対策について【町長】

- (1) 奄美大島5市町村において、被害の少ない自治体が被災した自治体を支援

する相互応援体制は整っているのか伺います。

- (2) 各避難所に配備されている発電機などの非常用電源について、災害時に確実に使用できるよう、日頃からの点検や訓練など、実効性のある体制が整っているのか伺います。
- (3) 大規模災害時には、避難所での長期滞在も想定されます。空調設備を含め、避難所の生活環境や熱中症対策を充実させるため、今後どのような整備を進めていくのか伺います。
- (4) 長期間の断水などにより備蓄飲料水だけでは対応できない事態も想定されますが、安定した給水体制を確保するため、給水車を導入する考えがあるのか伺います。
- (5) 災害時には、行政による備えだけでなく、各家庭における備蓄も重要です。各家庭での非常食や飲料水、防災用品などの備蓄について、現在どのような啓発を行っているのか、また、今後さらに取組を強化する考えがあるのか伺います。

2. 柔軟な職員応援体制について【町長】

- (1) 現在、繁忙期や一時的に人手が不足した場合に、課や係を超えて職員が応援するなどの対応を行っている事例について伺います。
- (2) 今後、繁忙期に限らず、急な職員の休みなどにも対応できるよう、数日から数週間程度の短期間で職員を応援配置するなど、柔軟な職員配置の仕組みを整える考えはないか伺います。

3. マイナンバーカードを活用した離島住民サービスの DX 化について【町長】

- (1) 離島住民であることをマイナンバーカードで確認し、専用の離島割引カードを提示することなく、航空・船舶の離島割引を利用できる仕組みを導入することはできないのか伺います。
- (2) このような離島割引のデジタル化を実現するためには、県や関係事業者などとの連携が必要になると考えます。本町として、県や関係機関に対して制度の見直しや導入を働きかける考えがあるのか伺います。

4. 全国に誇れるシーカヤックマラソン大会を持続させるために【町長】

- (1) 参加者数、協賛金、新たな取組、情報発信などを含め、今回の大会を町としてどのように評価しているのか、成果について伺います。
- (2) 今回の大会で得られた協賛や企業との連携をさらに広げ、地域や民間の力を生かすことで、町の負担を抑えながら、参加者や地域の皆様にも喜ばれ、地域経済にもつながる、持続可能な大会としていくことが重要であると考えます。今後の大会運営について、町の考えを伺います。

5. 若者が帰りたいと思える瀬戸内町について【町長】

- (1) 若者が地元で安心して働ける環境をつくるため、町内企業の人材確保や起業・創業などについて、商工会をはじめ関係機関との連携も含め、現在どのような取組を行っているのか伺います。
- (2) 町外へ進学・就職した若者に対して、町内の仕事や暮らし、住まいなどに関する情報を届けるなど、将来の U ターンにつなげるため、現在どのような取組を行っているのか伺います。
- (3) 現在、瀬戸内町で暮らしている若い世代から、町の暮らしやまちづくりについて意見を聞く機会は設けているのか伺います。また、若者の意見を町の施策に反映するため、どのような取組を行っているのか伺います。
- (4) 若者が町に愛着を持ち、「ここで暮らしたい」と思える環境づくりについて、スポーツ、文化、交流、イベントなどの分野で、現在どのような取組を行っているのか伺います。

9月7日（月） 13時30分～

通告7 質問者：泰山 祐一 議員

1. 人口政策について【町長】

- (1) 人口政策の成果と課題をどう総括するか。第5次長期振興計画で「住宅は足りている」が2023年度目標45.0%に対し達成値10.0%となった要因をどう分析するか。現在も「人口1万人復活」を目指すのか。2030年の人口目標と住宅・空き家活用等の数値目標を伺う。
- (2) 「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」は2023年度目標45.0%に対し達成値27.1%である。要因と改善策を伺う。また、一時預かり等の施設等利用給付、ファミリー・サポート・センター、産婦人科・小児科等、子育て支援の充実におけるの具体的計画を伺う。
- (3) 中等教育学校、併設型、連携型の3つの中高一貫教育について、本町の学校規模、設置者を踏まえ、実現可能性を調査研究する考えはあるか。特に町立中学校と県立古仁屋高校の連携が、地元進学率、生徒の一体感、学校の魅力化につながる可能性について、県教育委員会と協議する考えを伺う。

2. 各種計画について【町長】

- (1) 瀬戸内町長期振興計画策定条例第5条に基づく実施計画は策定されているのか。策定済みなら該当文書、対象期間、見直し・確認方法を、未策定なら理由と今後の方針を伺う。
- (2) 主要施策について、町民意識調査やKPIをどう評価し、政策・予算に反映し

たのか。また、「せとうち未来展望 2050」と長期振興計画、毎年度の予算・事業評価をどう連動させ、成果を検証するのか伺う。

3. 財政について【町長】

- (1) 令和 8 年度予算編成方針では「実質的な赤字が常態化」としている。令和 7 年度決算の一過性収入の影響も踏まえ、現在も財政を「強固」と評価するのか。また、令和 8 年度一般会計では地方債借入額が元金償還見込みが上回り、財政調整基金も取り崩されている。大型事業等による一時的なものか、財政計画の方針転換なのか。令和 10 年度までの地方債・基金残高の見通しを伺う。
- (2) 令和 7~9 年度を推進期間とする行財政再構築について、進捗、実行内容、工程・目標の公表時期、10 年間の定員管理・採用数等の検討状況を伺う。

4. 災害対策について【町長】

- (1) 台風 13 号では、土砂崩れ、倒木、道路寸断、停電、公共施設等への被害が発生した。道路沿線の樹木、法面・排水施設、老朽公共施設等の日常管理・予防保全をどう検証しているのか。また、電線周辺の樹木について、電力・通信事業者等との連携を含め、危険箇所の把握・通報・対応状況をどう管理しているのか。再点検、優先順位を付けた維持管理等と財源確保について伺う。
- (2) 台風 13 号では、道路通行止め、停電、断水等の進捗情報が十分に届かないとの声があった。町が区長等へ停電状況を確認する中、町長 SNS では復旧情報を発信後に訂正し、翌日にも訂正・謝罪が行われた。災害情報を対策本部でどう収集・確認し、本部長へ共有していたのか。今回の課題と、住民へ正確な進捗情報を伝える体制改善を伺う。

5. マリーナ構想について【町長】

- (1) 令和 6 年第 3 回定例会以降の調査・検討・関係機関との協議状況を伺う。現在も実現を目指すのか。目指すのであれば、次に何をいつまでに進めるのか伺う。